

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

新城市（区町村）地域公共交通計画の評価等結果（令和3年10月～令和4年9月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
Sバス利用者数： 平成27年度159,839人 →令和3年度170,000人	市広報誌・市政番組を活用したバスの乗り方講座・マイバス時刻表作成の実施	バス事業者の有する乗降データの計測	達成状況：77% 令和4年度Sバス利用者数 131,867人	地域ごとでの生活交通の足についての議論が進むなか、同時にバスに対する不満意見も集まっているため、適宜改善対応に努める。	
民間バス路線： 平成27年度201,767人 →令和3年度201,767人	市広報誌・市政番組を活用したバスの乗り方講座の実施、広域連携による利用促進イベントの実施	バス事業者の有する乗降データの計測	達成状況：73% 令和4年度民間バス利用者数 146,714人	これらの取り組みは、なかなか目に見えて成果が出ないものとなったが、情報発信・乗り方教室・広域連携による利用促進イベントの実施は、今後も定期的に行う。	
Sバス利用者満足度： 平成27年度 1.10 →令和3年度 1.17	道の駅もつくる新城を交通結節点として整備	乗降調査の実施	達成状況：1.05ポイント 目標との差 -0.12ポイント	生活交通の利便性向上は図られたが、対象となるのは市内でも一部地域のみであるため、より一層の充実を図る必要がある。	
地域での検討会議： 平成27年度 0地域 →平成33年度 全地域	地域自治区ごとに設定される地域計画と連動し、地域住民の生活の足に係わる課題を聞き取り、解決する道筋を立てる場を設ける。	地域懇談会実施	地域での検討会議の開催状況 令和4年度：10地区中8地区	8地区の中でも、特定地域では有識者を招いた懇談会を実施した。地域全体で公共交通への意欲・関心を高めることができた。残る2地域でも検討が図れるよう取り組む。	

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（○年○月～○年○月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。